

ぱれっと

1 月号

仙台市市民活動サポートセンター通信

2014 No.185

“ぱれっと”には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。

マチノワ

普段の暮らしの中で「こうしたらもっと良いまちになるのにな」と感じることはありませんか？市民活動と聞くと、少し難しい気がしますが、すべては普通の市民のちいさな思いから始まります。

年賀状で始める年の初めのボランティア

お 正月の風物詩「年賀状」。「寄附金付年賀状」というのがあるのをご存知ですか？日本郵便の年賀状で、お年玉くじ番号がA組で始まっているものが、寄附金付年賀状です。1枚につき5円の寄附金が、東日本大震災による被災者の救助・復興・防災、社会福祉の増進、青少年の健全育成を目的とする事業などの支援に使われています。そして、年賀状を書いたり印刷したりするときに、どうしても出てしまう書き損じ。その書き損じハガキを下記の団体に送ることで、国際支援や様々な団体の活動を支援することができます。

書 き損じハガキを受け取った団体は、書き損じハガキを郵便局で新しいハガキに交換。それを企業や金券ショップ等に販売して、その代金を国際支援の活動資金に充てたり、それぞれの団体の活動資金に充てています。

寄附金付年賀状に関するウェブサイト

▶ 日本郵便

<http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

▶ 書き損じハガキを収集している団体（順不同）

サンタピアップみやぎボランティア会／認定NPO法人IVY／NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ／NPO法人ワンファミリー仙台／社会福祉法人仙台いのちの電話／公益財団法人日本盲導犬協会仙台訓練センターなど

特集

ヨシ！思い立ったら！実習部
楽しく学ぶ防災ゲーム わしん俱樂部

ヨシ！思い立ったら！

実習部

HIROGARU TSUNAGARU



「社会や地域のために何かしたい」と思ったら、やってみるのがいちばんです。活動をはじめるときは、わたしたちの身近な暮らしの中にあります。ちょっと勇気を出して、さあはじめよう！

楽しく学ぶ防災ゲーム

2014年11月24日(月・祝)

わしん倶楽部の防災ゲームを体験してきました！

地震や津波など突然やってくる災害に、日ごろから防災対策や心構えをしておくことは大切です。しかし、いざ「防災を学ぶ」と聞くと、少し難しく、大変そうという印象を持つ方も少なくないと思います。では、そんな防災を明るく楽しく、自分からやりたくなるように学ぶことができたとしたら、どうでしょう？

2014年11月21日(金)～24日(月・祝)、エル・パークで「女性と防災せんだいフォーラム」が開催されました。そこには、「防災・減災を楽しく学ぶ」をコンセプトに、様々な防災ゲームを広めている市民グループ「わしん倶楽部」が出展していました。当日は、防災ゲームのひとつ「クロスロード」と、「^{ほいっぽ}歩一歩たいそう ^{ほいっぽ}ズーゾー弁翻訳版」を体験してきました。

会場に行ってみると、そこにはカードを片手に談笑している方たちがあります。なぜ盛り上がっているのか。その理由は、ゲームを体験してわかりました。



クロスロードは、「あなたが男性(女性)だったら」「60歳だったら」といった、自分と違う立場を想像しながら、災害が起きたときの対応の仕方を考え、参加者と意見交換をします。「そういう考え方もあるよね」「それは気付かなかった！」など、会話をしながら、つつい熱中してしまいました。

防災ゲームは、災害が起きたときの対策を学ぶだけでは終わりません。初めて会った人たちが、テーブルを囲んでゲームをする。いっしょに体操する。それをきっかけに会話が弾み、楽しい気持ちになりながら、得た知識を持ち帰ることができました。

わしん倶楽部 とは？

仙台を中心に活動しているわしん倶楽部は、「明るく、楽しく学ぶ」をコンセプトに、1人でも多くの市民に「生き抜く力」を身に付けるきっかけを提案し、「自助」「共助」「近助」に役立つための活動に取り組んでいます。災害時の難しい状況判断を疑似体験する防災教材「クロスロード」などのゲームや、「^{ほいっぽ}歩一歩たいそう」という体操を通じて防災・減災の知識や心構えを楽しく学び、防災の意識や気づきの場をつくっています。

わしん倶楽部の「わ」は、人と人の輪・心と心の輪の繋がりが大切であり、「しん」は、人と人の信頼関係を大切に、希望や夢はかなうことを信じ前進しようとの思いから2009年1月に設立されました。

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3
仙台市市民活動サポートセンター内 LC No.158

TEL : 022-256-8829

FAX : 022-268-4042

E-mail : sendai.seibou@docomo.ne.jp

ほいっほ

歩一歩たいそう ズーズー弁翻訳版

災害をはじめ犯罪や事故など、私たちの生活の中にある、あらゆる危機への備えをまとめた「歌+健康体操」。広島県呉市の社会福祉協議会作成の歌詞を、わしん倶楽部と有志でズーズー弁に翻訳し、「歩一歩たいそう ズーズー弁翻訳版」として、仙台・東北の人にも親しみやすい体操になりました。

● 童謡「うさぎとかめ」のみんなが知っているメロディーにあわせて「もーすも ずすんが おぎだなら♪」と歌いながら体を動かしていきます。振り付けも覚えやすく、椅子に座りながらでも OK。子どもからお年寄りまで、みんなで楽しく、体で防災知識を学ぶことができます。



わしん倶楽部の サポセンスタッフが体験してきました!

防災ゲーム いろいろ



クロスロードゲーム

クロスロードとは、「重大な分かれ道、人生の岐路」「人と人が出会う場所・活動場所」などという意味です。災害が起きたとき、多くの難しい選択を迫られることがあります。それに備えるためにつくられたカードゲームです。わしん倶楽部は、東日本大震災後、有志の方とそれぞれの実体験をアレンジした設問を追加した「みちのく編」を作成しています。

追加された設問の中には、「あなたは 60 代女性です。あなたはマンションの 10 階に住んでいて、災害発生直後、同じフロアに住む車椅子利用者から、避難所に連れて行って欲しいと頼まれたら、連れて行きますか」とあります。あなたなら、どう考えますか？

仙台で国連防災世界会議開催!

2015年3月14日(土)~18日(水)の期間、仙台市において、世界の防災戦略が議論される第3回国連防災世界会議が開催され、世界中から 5,000 人以上が仙台に集まります。また、期間中には、一般公開されるパブリック・フォーラムとして、様々な団体が主催する防災や復興をテーマとしたシンポジウム・展示が行われ、延べ 4 万人以上の参加が見込まれています。この会議を仙台で開催することは、東日本大震災の経験や教訓を生かした防災や復興に関する私たちの取り組みを、国内外に発信する貴重な機会となります。

今回、防災ゲームを体験してみて、「防災」は、誰もが気軽に取り組めるということがわかりました。災害に備える動機や取り組み方は人それぞれです。そして、東日本大震災を経験した私たちだからこそできることがあります。防災を自分ゴトとして考えて、あなたも一歩踏み出してみませんか。(嶋村威臣)



仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ

市民協働と防災 テーマ館

第3回 国連防災世界会議 in 仙台 2015年3月14日(土)～18日(水)

今回の仙台開催の特徴はテーマ館が設置され、地域活動団体が参画する場ができたことです。エル・パーク仙台を会場とする「女性と防災」、仙台市市民活動サポートセンターを会場とする「市民協働と防災」の2つのテーマ館です。「女性と防災」と「市民協働と防災」は、両テーマとも、震災の経験から地域課題を解決するさまざまな分野の取り組みや、地域が多様な主体と防災・減災に関する取り組みからコミュニティを考える場を作るものです。

「市民協働と防災」テーマ館は「防災からまちづくりを考える実行委員会」が運営し、「マチノワ～つながる想いを、まちのチカラに。～」を大きなキャッチフレーズとして、開催日ごとに「ひきだす」「支える」「つながる」「ひろげる」の4つのテーマに沿った取り組みを伝えます。地域活動団体の「平常時の市民協働」と「非常時の市民防災」についての取り組みを多くの方に知っていただき、防災の知恵を学び合い国内外へ発信していく場を作ります。

3/17 火

コミュニティFMなど地域密着のメディアで取り組みを可視化していく事例など

ひろげる

マチノワ

つながる想いを、まちのチカラに。

ひきだす

従来、地域とつながりがなかった住民が地域活動を始めた事例など

3/14 土

3/16 月

複数の団体や当事者が支援対象と協働して課題解決にあたった事例など

つながる

支える

独居者などへの見守り活動や地域の困りごとを協力して解決した事例など

3/15 日

つながる つなげる サポセン

▶仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

このようなご相談おまかせください

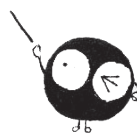
- ・市民活動の立ち上げ、法人格の取得・団体運営、組織運営
- ・復興支援活動・シニア活動、セカンドライフ相談などまずは、お電話ください。

開館時間 平日：午前9時～午後10時
日祝：午前9時～午後6時

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)及び、年末年始(12/29～1/3)



"Follow Me!"



編集後記

明けましておめでとうございます。今年の仙台は、3月に国連防災世界会議が開催されたり、12月に地下鉄東西線が開業したりと、大きく動きます。スケールが大きすぎると感じるかもしれませんが、防災世界会議も地下鉄東西線も、私たち市民が参加できるプログラムやイベントがありますよ。このまちの変化に、立ち会って、関わってみませんか？

▶ぱれっと読者アンケートにご協力お願いします！



サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等で右記の2次元バーコードを読み取ってご利用ください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
HP <http://www.sapo-sen.jp>
Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>
Twitter <https://twitter.com/sensapo>

発行日：2015年1月5日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人：菊地竜生 太田貴 菅野祥子 葛西淳子 松村翔子